



知床科学委員会 しんぶん

科学委員会本体会議 NO. 1



「知床で今何が起きているの!」「どんな調査が行われているの!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

科学委員会って?

科学委員会は、様々な分野の専門家が集まり、知床世界自然遺産のよりよい保全管理のためのアドバイスをする組織です。科学委員会の下には、分野ごとに5つの関連会議が設置されています。

科学委員会では、各会議からの報告を受けながら、遺産全般にかかる課題について議論されます。

今回の会議

7月24日(日)に斜里町のゆめホール知床で今年度第1回目の会議がありました。

構成メンバー

- 大泰司紀之(北海道大学名誉教授(委員長))
- 石川幸男(弘前大学 教授)
- 大島慶一郎(北海道大学 教授)
- 梶 光一(東京農工大学 教授)
- 金子 正美(酪農学園大学 教授)
- 工藤 岳(北海道大学 准教授)
- 桜井 泰憲(北海道大学 教授)
- 敷田 麻実(北海道大学 教授)
- 鳥澤 雅(道総研 中央水産試験場長)
- 中川 元(知床博物館 学芸員)
- 中村 太士(北海道大学 教授)
- 松田 裕之(横浜国立大学 教授)

必見! TOPIC

知床が世界自然遺産であり続けるためには?

知床が世界自然遺産に登録されてからおよそ2年半後の平成20年2月に世界遺産センターとIUCN(国際自然保護連合)による現地調査が行われました。そしてこれからの保全管理への助言として**17の宿題(勧告)**が出されました。



写真:世界遺産センターとIUCNによる視察の様子

出された宿題って???

種類	数
海域の生態系保全と利用	6
河川工作物の改良とサケ科魚類の遡上状況	3
増えすぎたエゾシカと植生	4
エコツーリズム戦略策定	3
気候変動の影響を含むモニタリング計画の策定	1
計	17

例えば...

「河川工作物の改良とサケ科魚類の遡上状況」の1つに



『サケがより自由に移動できるよう対策を進めることと、サケの遡上個体数を増やすこと』

などが挙げられています。

これらの宿題を解決していくための取り組み方などを平成24年の第36回世界遺産委員会で報告することになっています。知床が世界の自然遺産であり続けるためには、その価値を保ち続けることが必要なのです。

今回話し合ったこと

- ①各ワーキンググループ等の検討状況
- ②長期モニタリング計画の策定
- ③平成22年度知床世界自然遺産地域年次報告書(案)
- ④世界遺産委員会への勧告対応状況の報告
- ⑤地域に向けた取組

注目!

知床の保全管理の『今』を
地元の皆様へご紹介しています。

科学委員会をはじめとする会議での話し合いの内容、遺産地域で進められている調査研究活動や保全管理状況などについての情報を地元両町の皆様へお知らせします。

ニュースレター

「知床科学委員会しんぶん」として関連会議の後につくられます。7月にはエゾシカ・陸上生態系ワーキンググループのしんぶんが届いたと思います。遺産地域が抱える様々な課題や、その課題への対応についての最新情報をお伝えします。この



もうご覧になりましたか?



7月に発行された「知床科学委員会しんぶん」第1号

ニュースレターは会議の後に斜里町と羅臼町の一部へ配布されるほか、ウトロの世界遺産センターや羅臼ビジターセンターなどの施設にも置かれます。

勉強会

講師は、科学委員会や関連会議の先生方です。「しれとこ科学教室」として、7月25日に羅臼町で桜井先生(根室海峡のスケソ漁)と牧野先生(地球温暖化と知床の水産業)、8月17日に斜里町で石川先生(シカが知床の風景を変える)に講演して頂きました。第3回は10月15日(予定)に中村先生を講師として、河川に設置されたダムに改良が加えられた現場で周辺環境やサケ類の

知床白書

知床白書



地元のみなさまへ情報をきちんと提供することの方法として、その年に何が起ったのか1冊で分かるように「知床白書」が作られます。

遡上がどのように変わったのかについてお話していただきます。



8月17日の科学教室

石川先生と一緒に、シカの食場で植生が変わったフレペの滝遊歩道を歩きました。

内容は、遺産地域の自然環境、利用状況や管理状態についての情報整理と各種取り組みなどです。平成21年度より試作されていますが、今後3年間をかけて構成を確定していくことになっています。今回の会議では平成22年度版の素案をもとに、掲載すべき事項について話し合われました。

※知床白書は「知床データセンターHP」に載っています。

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

他にも知床で行われている様々な研究データをご覧いただけます!



■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所
〒085-8639
北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4階
TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

委員長の大泰司です。



知床での野生生物調査は、32年前の1979年から始めました。そして2004年に科学委員になり、2006年から委員長を務めています。

科学委員や関連会議のメンバーの多くは、皆様のふるさとを舞台として研究を進めています。その成果から知床・オホーツク海の生態系の豊かさがますます分かってきました。引き続き皆様のご協力のもとに調査を進め、これからの保全管理について話し合っていきたいと思っております。

委員長 大泰司 紀之